

2020年6月4日

不二製油グループ本社がカカオのサステナビリティ強化の新しい取り組みを開始

不二製油グループ本社がコートジボワールとガーナでの児童労働撲滅と森林破壊防止に関するサステナブルコミットメントを策定

不二製油グループ本社（以下、当社）は、現行のサステナビリティに関するコミットメントの一環として、子会社であるブラマーチョコレートカンパニー（以下、ブラマー社）と協業しカカオ産業が直面している最も重要な社会課題に対して 2 つの世界的な取り組みを発表しました。

- 1：2025 年までに企業のカカオサプライチェーンにおける「最悪の形態の児童労働」（WFCL：Worst Forms of Child Labor）撲滅。これは、2030 年までに児童労働撲滅という最終目標の達成に向けた取り組みです。
- 2：2030 年までに森林再生を目的としたカカオ農業地域における 100 万本の植樹を行います

私たち不二製油グループ本社は、傘下のブラマー社との協働により、カカオ産業が抱える様々な社会的課題に対し大きな意味を持つ今回の取り組みをご報告できることを嬉しく思います。今回発表する取り組みは当社が 2018 年に策定した「責任あるカカオ調達方針」に基づき、具体的な目標を示しております。

ブラマー社のサステナビリティコーポレート・シニアディレクターの Kip Walk は「カカオのサステナブル供給において、ブラマーは長い歴史の中でリーダーシップを築いてきた。今回打ち出すコミットメントは私たちの重要かつカカオサプライチェーンに組み込まれる地域の生活レベルを向上させるための新しい段階の代表的な取り組みとなる。また、カカオ栽培地域に住む子どもたちの福祉を守ることは森林環境を回復・保全する取り組みと同様に大切である」とコメントしています。

WFCL の撲滅を達成するために、当社とブラマー社は児童労働の監視や女性の地位向上、森林再生などのカカオ農家支援プログラムを含む以下の多層戦略を実施します。

児童労働問題を扱うにあたり、その一環として子どもたちへの質の高い教育機会の提供や子どもの栄養状態改善プログラムを支援する目的で、当社とブラマー社はヤコブ財団の 2 つのイニシアチブ（新しい取り組み）に参加する意向を発表いたしました。

一つ目のイニシアチブである Child Learning and Education Facility (CLEF) は、質の高い初等教育を受ける機会に焦点を当て、カカオ栽培地域とその周辺地域の 500 万人の子どもたちと 1,000 万人の保護者を支援することを目指しています。二つ目のイニシアチブである Early Learning And Nutrition (ELAN) は、5 歳未満の 130 万人の子どもとその保護者を対象に、幼児期の発達と栄養に関する質の高い教育とトレーニングを提供することを目的としています。当社とブラマー社はこの共同での取り組みにおいて他の事業パートナーが参加することも歓迎しております。

さらにコートジボワールとエクアドルで実施している児童労働のモニタリング、女性の地位向上、森林再生など農家支援サステナビリティプログラムをガーナのカカオ農家に対しても展開します。このプログラムによるカカオ豆はアジアや欧米に供給されます。

カカオ栽培地域の森林再生における取り組みとして 100 万本の植樹を行います。計画の初期段階はコートジボワールとガーナをターゲットとします。植樹はカカオ栽培地域の森林環境保護、再生を目的とし、生物多様性に配慮した様々な種類の樹木を植樹します。

参考 URL: (英語) Blommer Chocolate Company www.blommer.com.